



第3回定例市議会一般質問

櫻井あき市議：エアコン設置を迫る！

9月7日から21日まで第3回定例市議会が開催されました。櫻井市議は、4件、7点について質問したので、質疑・答弁の概要を2回に分けて掲載します。

保育、教育施設へのエアコン設置について

櫻井↓近年の温暖化で生命を脅かすほどの猛暑となった。市として全ての子ども達の安心安全のため、早急な対応が必要と考えるが認定こども園、保育園、小中学校へのエアコンの設置について実現するお考えがあるか伺う。



市長↓本市でも、子ども達の熱中症による事故防止のため、下校時間を繰り上げ午前授業にするなどの措置をとった。冷房設備の設置は喫緊の課題。北海道市長会で小学校、児童館、認定こども園等への冷房設備についての緊急要請を与党、文部科学省、子ども家庭庁に9月11日に提出する。今後子ども達の安心安全を第一に考え、冷房設備



櫻井 暁 議員

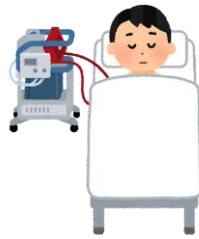
夕張市議会のYouTubeチャンネル
令和5年第3回定例市議会1日目②より

高校卒業までの医療費無料化について

の設置について検討してまいりたい。

櫻井↓現在夕張市は、乳児から中学校卒業まで医療費が無料となっている。これを

高校卒業までに改定することで他市町村との差別化を図り、定住、移住の選択肢になつながら子ども



市長↓高校卒業までの医療費無料化は今のところ実施を検討する段階ではないが、今後も国の施策を踏まえ子育て政策全体の中で研究してまいりたい。高校卒業ま

避難所でのペットの対応について

での医療費無料化を実施した場合の予算は年間150万円程度ではあるが、三年間にかかる医療費の予測は困難であり、必ずしも低予算で行える政策であるとは考えていない。

櫻井↓若者から高齢者まで多くの市民がペットと共に家族として生活していると考えるが、災害時のペットの避難所対応についてうかがう。

市長↓避難所で避難され、その中には動物が苦手な方、アレルギーの方もいるため、現時点ではペットの避難所対応は考えていない。しかし、多くの市民がペットと共に生活されていることは認識している。他市町村の対応やガイドラインを踏まえ避難所運営の参考としたい。



地域避難訓練について

多くの避難者がいる中、動物が苦手、アレルギーなど様々な課題があることから現時点では困難であると考えている。

櫻井↓平常時から飼い主が行うべき備えなどの啓発について獣医師会、関係事業者および町内会を通じて積極的に取り組むべきと考えますが、見解をうかがう。

市長↓ペット、動物の災害対策に関する啓発などの取り組みについて、環境省が作成したガイドラインを参考に検討していく。

櫻井↓廃校舎を活用した避難所運営について、ペットも同伴の避難ができる場所を作れないかという

市長↓ペットと人が同じスペースで過ごすペット同伴の避難所ということだが、

櫻井↓夕張市は、陸地盤が硬く、災害が少ない地域であり、災害対策意識を高めにくい地域と考えるが、土砂災害警戒区域も多いことから意識改革が必要。高齢者のペットの同行避難を含めた地域避難訓練の実施が可能かうかがう。

市長↓本市では毎年地域を変えて住民避難訓練を行っており、高齢者に限らず全市民を対象にし、高齢者も参加している。ペット同行の避難訓練については、動物の苦手な方、アレルギーの問題など多くの課題があることから、現時点では考えていない。

第35回夕張労連定期大会開催

9月17日拠点複合施設「リすた」に於いて、第35回夕張労連定期大会が開催されました。

冒頭、筒井労連議長から、地域の労働運動の要としての夕張労連のこの一年の成果と課題・政府の軍拡路線に伴う消費税の更なる負担増と物価高騰に対する今後の闘いの展望・これからの闘いを支える組織拡大の取り組みについて、論議を深めようと提起されました。

来賓として参加した櫻井あき党夕張市議長より、前半は、「燃料費や各種生活用品の値上げが市民生活に重くのしかかっている大きな原因が、財界のいいなりと日米安保条約優先の軍拡路線の政府の姿勢にある」とし、「政治を国民の手に取り戻

る」とし、「政治を国民の手に取り戻



夕張労連の役員改選では、すべての役職で留任の長音頭のもと参加者全員の団結が大きな力となりました。

そう」との訴えがありました。後半は反戦の内容を扱った絵本「爆弾となつたひいじいちゃん」を読み聞かせ、反戦・平和を語りかけました。厚谷市長・大山市議会議長・労働金庫岩見沢支店からのメッセージの紹介のあと、熊谷事務局長より、2022年度の運動の総括・2023年度の運動方針案・会計決算予算案の提案があり、質疑討論のあと、代議員の採択の結果、すべての議案が承認されました。役員改選では、すべての役職で留任の長音頭のもと参加者全員の団結が大きな力となりました。



岩淵 友「国会かけある記」
参議院議員
岩淵 友

汚染水の海洋放出直ちに中止を

9日、帯広市での演説会。参加いただいた多くのみなさん、準備されたみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。会場の最前列には、はたやま和也さんを応援する「うちわ」を持った方がずらり。熱烈な応援が心強い。

はたやまさんの話はいつ聞いても引き込まれます。中学校の教員をしていたときの生徒たちとのエピソード、教員時代の経験が政治の道へと進む力になったことなどをはじめ、道内を駆け回るなかで出会った方々の実態、痛みや苦しみ、願いを受けて、政治を変えようという思いが熱く語られました。

政治をおもとから変えるために、日本共産党の議席が北海道に必要です。「今度こそ」という思いを改めて強くしました。

私は、東京電力福島第一原発事故に伴うALPS処理水の海洋放出について時間をとって話しました。政府と東京電力が漁業者・国民との約束を破って海洋放出を強行したことに断固抗議するものです。

中国が日本からの水産物の輸入を停止したこと、北海道にも影響が出ています。ホタテの価格が下がるようなことがあれば、国内の消費がホツキからホタテに置きかわるのではという懸念が苦小牧で出された、はたやまさんから聞きました。政府は予備費で207億円措置することを決めましたが、先が見えないなかで新たな投資は不安も伴います。海洋放出は中止して、それ以外の方法を真剣に検討するよう引き続き求めていきます。



紙智子「国会かけある記」
参議院議員
紙智子

政府はただちに具体策示せ

収穫の秋ですが北海道でも異常な暑さが続いています。

JA北海道中央会をはじめ、農協や土地改良区などを訪ね北海道の作物の生育状況など実情をお聞きしました。

樽井功中央会会長は開口一番、「稲刈りが始まったが異常な暑さ続きで高温障害が出ている、どれくらいの規模になるのか気になるし、品質低下も心配だ」と話されました。あらためて気候変動の深刻さを感じました。

国は転作助成金(水田活用交付金)の見直しを進めています。転作率が高い北海道。水田を畑地に変えるなら補助すると言いますが、申請しても予算が付かない事態に陥っています。水を管理している土地改良区は畑地になれば、水を使う農家が減り、水利費などの維持管理費が入らなければ運営できないなど、心配が尽きません。世界的に食料危機が言われる昨今。食を支える農業にとって深刻な事態が進行しています。

国が東京電力福島原発の汚染水(アルプス処理水)を海洋放出し、中国が日本の水産物を全面禁輸したことで、深刻な打撃を受けている水産関係者からも話を聞きました。輸出したホタテが大量に戻り、これからホタテの水揚げが進むと冷凍倉庫が足りなくなります。「政府は勝手に放出を決めたのに対策が示されない」と不安と不満も出されました。

早速、国会に戻り経済産業省と水産庁にスピード感をもって具体策を示すよう求めました。